資料３

令和６年度
杵藤圏域二級水系流域治水協議会
杵藤地域の県管理河川大規模氾濫に関する減災対策協議会

３　市町の取組について

・鹿島市
・嬉野市
・白石町
・太良町

杵藤圏域　二級水系流域プロジェクト【鹿島市の取組】
～有明海にそそぐ多様な特徴を有する河川の流域における流域治水対策の推進～

災害対応（リモート）

作成年月：令和7年2月

【令和3年度～令和5年度の3年間で6か所設置】　（総務課防災係）

・河川監視カメラ一式 2台（1年あたり） × 3か年 ＝ 6台　➡ **設置完了**

災害時（警報発令中など）に河川水位や水流などを、市民が24時間リアルタイムで安全に確認できる（室内でのケーブルテレビ視聴）監視カメラの購入と設置。※令和7年度までの計10か所を計画していたが、ケーブルテレビ独自設置箇所数も増えていることから事業期間を短縮。

現在18か所（鹿島市ケーブルテレビ12か所＋市6か所）※県「すい坊くん」7か所＋武雄市（杉橋）、嬉野市（塩田橋）も視聴可

【参考】
左図設置箇所
CATVでもチャンネル増設し視聴可となった

「大雨・台風時には河川の状況を見に行かなくても、市内のCATVに加入していれば自宅に居ながらにして閲覧可能」と各地区等の出前講座時に、操作方法も含め利用を推進している

市民の声
- 危険を早期に回避できる判断となる
- 河川の状況が家に居て分かるので便利
- 自宅で見られるなんて知らなかった

出水期は市報にてLive映像の操作方法を呼びかけ ※R6.7月号より

①水防災意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進するための取組

■ケーブルメディアとの連携による河川情報の提供

はがくれテレビご加入者向けサービス「防災ライブカメラ」に内水氾濫地域１箇所が追加になった。（赤枠画面）

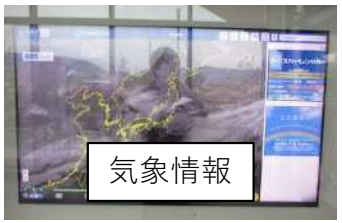
②児童・生徒への防災教育を通して、防災知識と日頃の準備の必要性などを家庭内に普及して、防災意識の向上を図るための取組

■防災ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄを全児童・生徒へ配布（令和５年１月）

自宅の玄関、リビング等に貼り、利用しやすいﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ

③「道の駅うれしの まるく」から観光客等の安全を確保するため、各種防災情報を発信

「道の駅うれしの まるく」情報提供施設



◆成果

市民や観光客等市内に所在する人に河川情報を含む様々な防災情報を周知することができ、更に避難行動を促せるようになった。

◆今後の予定

防災アプリの作成を検討しており、「一人も残すことなく」避難行動を促す体制を追及する。

杵藤圏域　二級水系流域プロジェクト【白石町の取組】

～有明海にそそぐ多様な特徴を有する河川の流域における流域治水対策の推進～

取組項目名：洪水被害軽減のための取組と既存施設運用の工夫等の取組

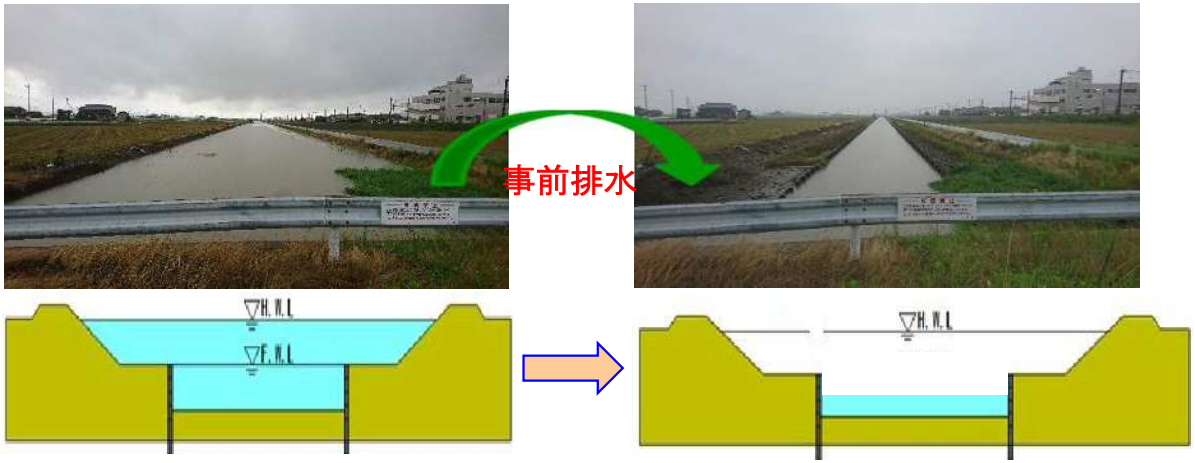
■既存施設運用等

【豪雨に備えたため池やクリーク等の早期排水】

【大雨に備えた事前の対策】
○大雨（警報級）が想定される場合
→　防災行政無線により、町内全域に事前排水を呼びかけ
→　町内巡回により、個別に事前排水を要請（ほか電話連絡等）

治 水 効 果

浸水被害を軽減するため、大雨時の一時貯留断面を確保



【令和6年3月運用開始】
白石町防災カメラシステムMinsai(見んさい)

【白石町防災カメラシステム】Minsai(見んさい)
白石町が設置した防災カメラ10か所と共に、国県などの協力を得て、カメラ、センサー59か所の画像やデータを使ってリアルタイムに周辺の道路･河川･水路の状況、気象情報を確認できる。
災害時の初動対応や避難準備のタイミングに効果を期待している。

○近年の天候（大雨）の傾向と対策
○事前排水の重要性の説明
○調整員、上下流地域間の連携強化など

≪排水調整会議の開催≫

ゲート操作による排水調整

ゲート操作の省力化（電動化）

【効果】
○町内各地域に事前排水を呼びかけ、事前排水の徹底を図ることで浸水被害の軽減と町民の防災意識の向上を図ることができた。また、ゲート操作の省力化（電動化）を実施することにより、操作員の負担軽減や安全確保を実施できた。

防災行政無線との連携による河川カメラの活用事例（太良町）

【課題】

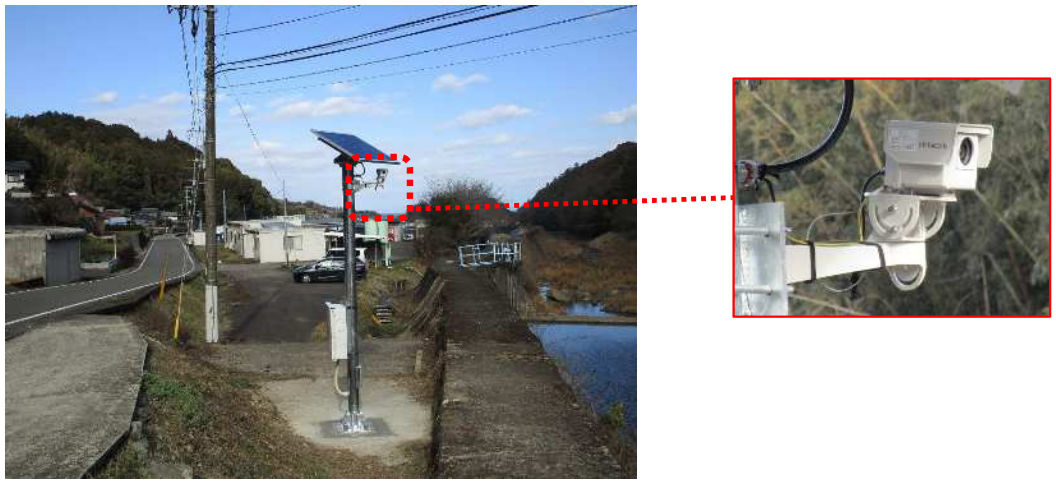
町内河川の今現在の状況を庁舎内で確認できない。

【解決策】

災害時（警報発令中など）に河川水位や水流などを、リアルタイムで安全に確認できる河川監視カメラを令和4年度に設置。高感度/高繊細な小型カメラで、いつでもどこでもしっかり監視ができるようになった。

【設置写真】　専用PC

河川カメラ（ソーラーパネル付き監視カメラ）



近年の豪雨による河川氾濫を踏まえ、大雨で川の水位が上昇したときに
水位状況等を確認し、避難判断を行うことが重要である。
そのため令和4年度の防災行政無線の整備に合わせ、町内の重点監視地点における
地域の河川水位を監視するため、2箇所に河川カメラを設置し映像情報収集する。